



株 主 の 皆 様 へ

2009年度事業のご報告

第110期 2009年4月1日から2010年3月31日まで

NGK **NTK** 日本特殊陶業株式会社
スパークプラグ ニューセラミック

証券コード 5334

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、日本特殊陶業グループの第110期（2009年4月1日～2010年3月31日）の事業および現状についてご報告申しあげます。

■当期の連結業績について

第110期の売上高は2,439億14百万円（前期比16.5%減）、営業利益106億83百万円（前期 営業損失52億22百万円）、経常利益107億58百万円（前期 経常損失75億28百万円）、当期純利益は135億9百万円（前期 当期純損失716億69百万円）となりました。



取締役社長

加藤倫朗

■次期の見通しについて

世界的に景気の持ち直しの動きが見られるものの、依然として雇用・所得環境は厳しく企業の設備投資の低迷が続く、先行き不透明な状況が継続するものと思われます。

次期の業績につきましては、為替レートを1ドル=85円、1ユーロ=120円を前提に、売上高2,555億円（当期比4.7%増）、営業利益は215億円（当期比101.2%増）、経常利益は220億円（当期比104.5%増）、当期純利益は185億円（当期比36.9%増）を計画しています。

自動車関連事業分野においては、当期後半以降の需要が継続すると予想され、売上高1,849億円（当期比11.3%増）、営業利益244億円（当期比56.2%増）となる見込みです。

情報通信・セラミック関連事業分野においては、コスト管理を徹底し、さらなる生産性向上を目指してまいりますが、主要製品であるICパッケージの所要減から、売上高666億円（当期比10.2%減）、営業損失26億300万円（当期 営業損失51億100万円）となる見込みです。

■利益分配に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、安定的な配当の継続を基本方針として株主の皆様の期待に応えていきます。一方で収益に応じた利益の還元も重要と考えており、当面、連結での配当性向20%以上を目処にして、基本方針である安定的な配当水準や、将来の成長に必要な研究開発、事業拡大・合理化のための設備投資および出資に充てる内部留保を総合的に考慮した上で、中間および期末配当を継続的に実施していく方針です。また、資本効率の向上を図るために自己株式の取得も有効と認識しており、必要に応じて実施していきたいと考えています。

こうした利益還元をより機動的に行うために、剰余金の配当等に関しては定款の定めるところにより、取締役会の決議事項としています。

第110期の1株当たり配当金につきましては、中間配当＝5.5円、期末配当＝5.5円による年間11.0円とさせていただきます。また、第111期の1株当たり配当金については、普通配当金として年間18.0円を予定しています。

■中長期的な経営戦略について

当社グループは、10年後の当社グループのあり方を見つめ、2013年3月期までの3年間を「事業基盤の強化とさらなる発展への足掛りの構築」と位置付けた第5次中期経営計画「日特進化論 深化の3年」を策定しました。

当該中期経営計画では、次の3つを基本的な取り組み事項として掲げています。

- ・ものづくり力強化による既存事業の再構築と基盤固め
- ・新研究開発体制による次世代に繋がる新商品開発
- ・戦略的な人的資源の活用による組織力の強化

この方針のもと自動車関連事業分野においてはグローバルシェアのさらなる拡大、情報通信・セラミック関連事業分野においては安定して利益の出る体質をつくること、そして全社横断組織である技術開発本部にて新ビジネスの種まきに力を注いでいきます。

今後とも引き続き株主の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

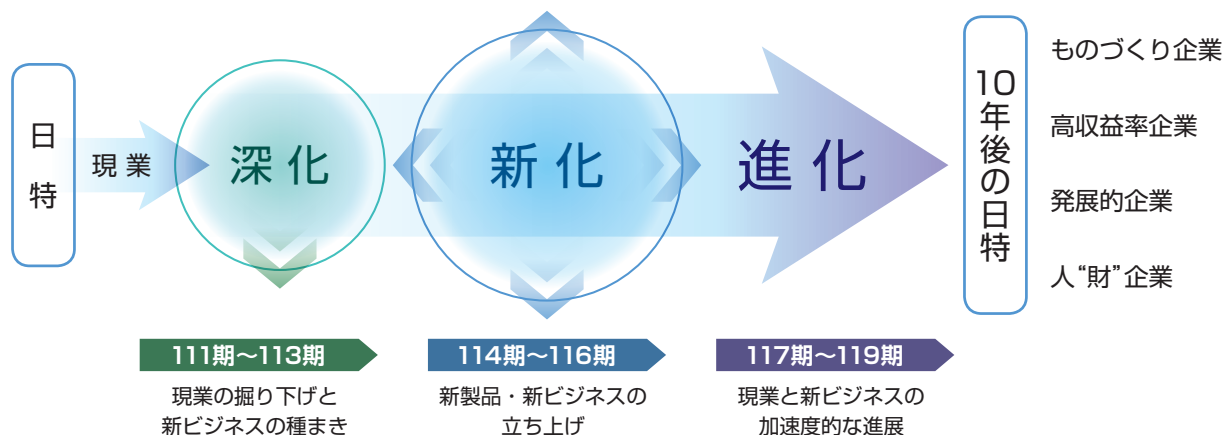
第5次中期経営計画を策定

当社は、2011年3月期から2013年3月期までの3年間で「日特進化論 深化の3年」と位置付けた第5次中期経営計画を策定しました。

10年後の当社グループのあるべき姿、すなわち「ものづくり企業」、「高収益率企業」、「発展的企業」、そして「人“財”企業」を目指す最初の3ヶ年にあたります。

「深い」の字を用いる「深化」のこの3ヶ年は、「現業の掘り下げと新ビジネスの種まき」と位置付けました。

● 新・中期経営計画の全体像



第5次中期経営計画は、先ず「ものづくり企業日特」の原点に立ち返り、事業基盤をしっかりと固め、当社の将来を見据えて新ビジネスの種まきを行い、次の3ヶ年で新ビジネスを立ち上げられるようにする「準備の3ヶ年」と位置付けています。

● 基本方針と基本的な取り組み

基本方針

「事業基盤の強化とさらなる発展への足掛りの構築」

基本的な取り組み

- ものづくり力強化による既存事業の再構築と基盤固め
- 新研究開発体制による次世代に繋がる新商品開発
- 戦略的な人的資源の活用による組織力の強化

これらの方針と取り組みのもと、第5次中期経営計画最終年度となる2013年3月期の売上高は、2010年3月期比121%の2,950億円、また営業利益は同383%の410億円（営業利益率13.9%）を目標とします。

● 業績目標

	110期実績 (2010年3月期)	111期 (2011年3月期)	112期 (2012年3月期)	113期 (2013年3月期)
売上高	2,439 億円	2,555 億円	2,775 億円	2,950 億円
営業利益 (率)	107 億円 (4.4 %)	215 億円 (8.4 %)	333 億円 (12.0 %)	410 億円 (13.9 %)
純利益	135 億円	185 億円	248 億円	240 億円
ROE	7.0 %	8.7 %	10.7 %	9.5 %

● 事業分野での取り組み

<自動車関連事業分野>

- 技術的優位性の確保と低コスト設計の推進
- グローバル生産体制最適化による、グローバルシェアのさらなる拡大

<情報通信・セラミック関連事業分野>

- 高付加価値商品の内製化、サイクルタイム短縮とコストダウンの推進による競争力強化
- 安定して利益の出せる体質づくり

社会教育講師派遣の取り組み

当社のNGKスパークプラグの主力生産工場である鹿児島宮之城工場は、地域の皆様にご支援いただき、皆様と一緒に作り上げてきた共存共栄型の工場です。そのため「企業として社会に貢献できることは何か」を常に考え、地域貢献活動に積極的に取り組んでまいりました。

この度、その一環として鹿児島県立薩摩中央高校へ宮之城工場より当社社員を講師として派遣し、＜「ものづくり」を通じての社会人としての教育＞をコンセプトに講義を行いました。

講義は主に就職を控えた3年生を対象とし、「品質とは」、「QCとは」など、今後実際に製造業務に携わる際に必要となる事柄について、当社社員が経験から得た生きた知識を活かした社会教育となっています。

受講された生徒さんからは、「品質に対する理解が深まって良かった」との感想を、また先生からは、「講義の内容がわかりやすく、学校では教えることがない内容であり、今後就職した際に役立つと思う」とのお言葉をいただいています。

今後は講義だけではなく実地演習なども取り入れ、より興味深く感じていただけるような取り組みを展開し、地域の皆様に貢献できるよう、努めてまいります。



売上の一部を植樹活動に寄付

当社の主力商品であるNGKスパークプラグはエンジンに着火をするための重要な部品です。長く使用すると電極が消耗し正常な燃焼が起きないため、クルマのパワーだけでなく燃費も悪化し、排気ガスに含まれるCO₂なども増えてしまいます。当社は『エコプラグにかえよう!』のキャッチフレーズで、クルマにも地球にもやさしい、定期的なプラグ交換をお願いしています。

こうした環境に配慮した製品のご提供を本業とする一方で、自然環境との共存共栄に向けた取り組みも企業の重要な責任であると認識しています。そうした理念のもと、「春のエコプラグにかえよう!」キャンペーン（2009年4月～6月）でNGKスパークプラグをお買い上げいただきました売上の一部を北海道雨竜郡幌加内町母子里 410林班で行なわれた植樹活動に寄付しました。

北海道の天然林の多くは、台風や山火事などの自然災害により笹地化しています。

一旦笹地化すると森林の自然再生には長い年月がかかってしまいます。豊かな森林生態系を再生するため、北海道大学技術研究員15名によって2009年9月17日（木）アカエゾマツ1,000本（この内100本が当社寄付分）の植樹が行なわれました。

NGKスパークプラグユーザーの皆様と一緒に植樹されたこのアカエゾマツが、この地に再び緑豊かな森林生態系を取り戻し、育んでいくことになります。この活動は今後も継続して行っていく予定で、当社では皆様とのこうした“輪”を定着させ、さらに広げていくよう努めてまいります。

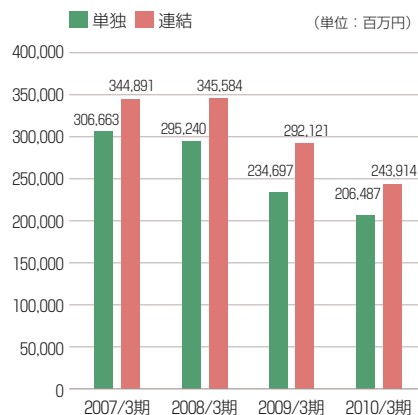


植樹されたアカエゾマツ。この後アルミ製のナンバープレートが付けられ、番号によって識別されます。

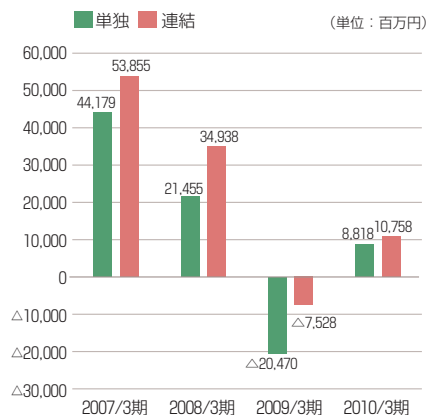
当期の業績

連結	売上高	2,439億14百万円 (前期比16.5%減)	単独	売上高	2,064億87百万円 (前期比12.0%減)
	経常利益	107億58百万円 (前期経常損失75億28百万円)		経常利益	88億18百万円 (前期経常損失204億70百万円)
	当期純利益	135億9百万円 (前期純損失716億69百万円)		当期純利益	132億98百万円 (前期純損失741億17百万円)
	1株当たり 当期純利益	62円1銭		1株当たり 当期純利益	61円4銭

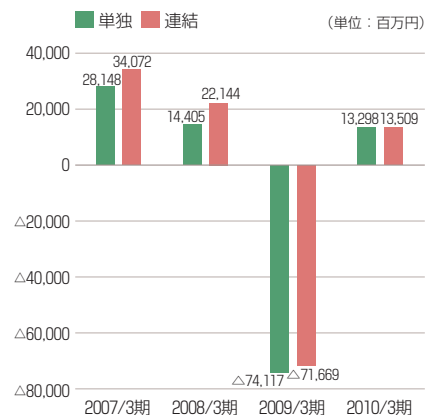
売上高



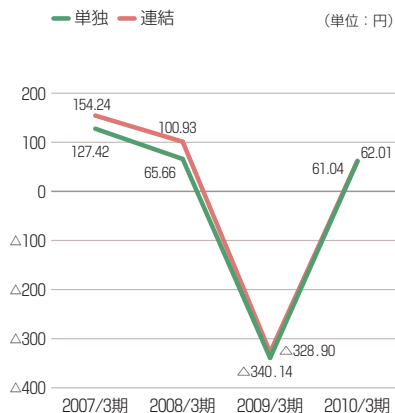
経常利益



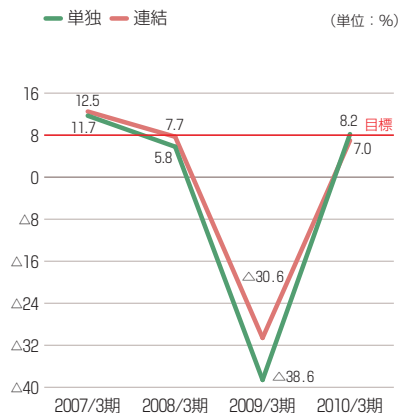
当期純利益



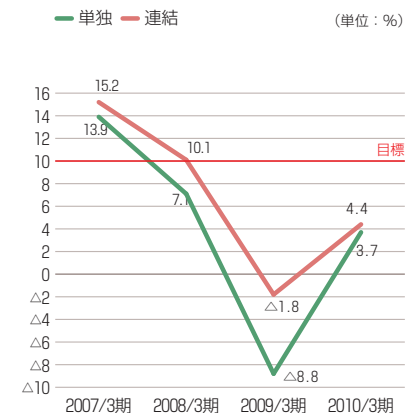
1株当たり当期純利益



自己資本当期純利益率 (ROE)



売上高営業利益率



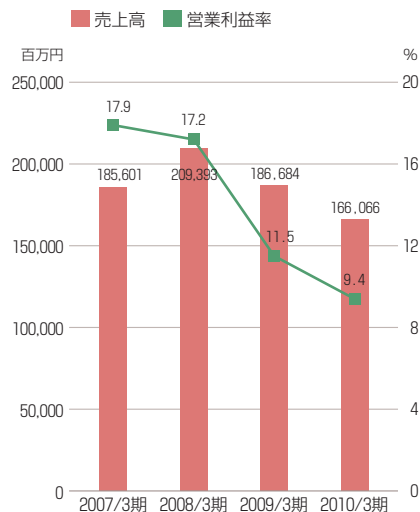
自動車関連事業

連結売上高 1,660億66百万円（前期比11.0%減）

連結営業利益 156億25百万円（前期比27.4%減）

前年度後半に全世界における新車組付用市場、補修用市場の急激な冷え込みによって、当年度前半の業績は、大きな影響を受けました。しかしながら、各国の経済政策による自動車買換え需要や、世界的不況からいち早く抜け出した新興国経済の力強さに支えられ、年度後半に向かって想定を上回るペースで回復してきました。

自動車関連事業売上高・営業利益率



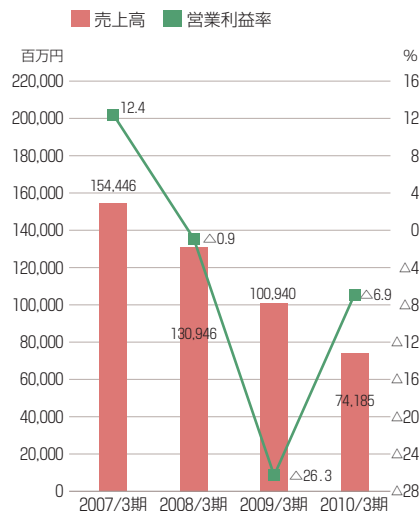
情報通信・セラミック関連事業

連結売上高 741億85百万円（前期比26.5%減）

連結営業損失 51億10百万円（前期営業損失265億64百万円）

当事業においても、世界的な需要減退やドル安、主要製品であるMPU用ICパッケージの消費市場であるモバイルパソコンの低価格化による販売価格の下落など、前年度に引き続いて厳しい状況のなか、組織再編や生産体制の最適化など事業構造改革に取り組んできました。年度後半にはパソコン市場をはじめ市況が上向いてきたこともあいまって、赤字幅を大幅に圧縮。下半期の業績は、ほぼ損益均衡の水準にまで辿り着きました。

情報通信・セラミック関連事業売上高・営業利益率



その他の事業

連結売上高 37億50百万円（前期比18.4%減）

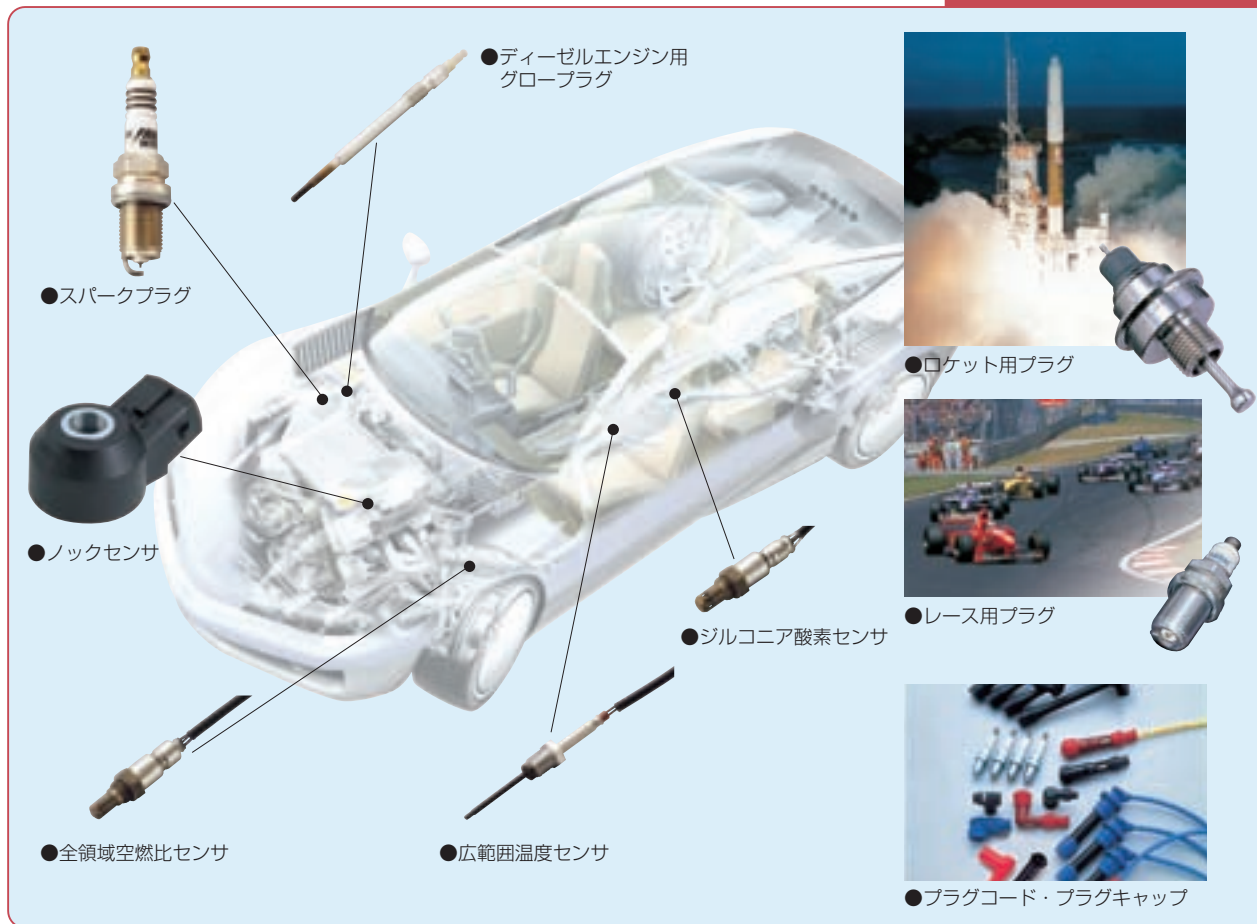
連結営業利益 1億67百万円（前期営業損失1億92百万円）

自動車関連事業

モータリゼーションを取り巻く環境は、自動車の利便性・快適性・機能性だけでなく、資源保護や環境保全を含めた多面的な開発姿勢が強く求められています。こうした要望に応じて、当社ではスパークプラグをはじめ、酸素センサ、ノックセンサなどの幅広い自動車部品を開発してきました。スパークプラグ

は国内外のほとんどの自動車メーカーに採用され、排気ガス浄化システム用酸素センサとともに世界トップクラスのシェアを誇っています。

自動車関連事業 主要製品



情報通信・セラミック関連事業

情報通信技術の多種多様なニーズに応える総合ICパッケージメーカーとして、セラミックや有機材料を使い、パソコンの心臓部であるMPU（マイクロプロセッサ）用、携帯電話をはじめとする通信機器に搭載されるデバイス用やLED用のパッケージを各種取り揃えています。

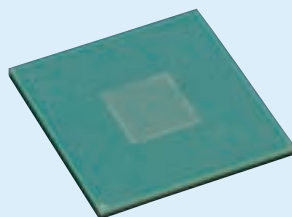
またセラミック応用製品として、長寿命・高精度加工を実現する切削工具、超音波ウェルダなどに使用される超音波振動子

子といった産業分野をはじめ、バイオセラミックスや在宅酸素療法に使われる酸素濃縮器などの医療分野、温水便座に使用されるセラミックヒータなどの生活関連分野、そして半導体製造装置用部品など各種幅広く使用されています。

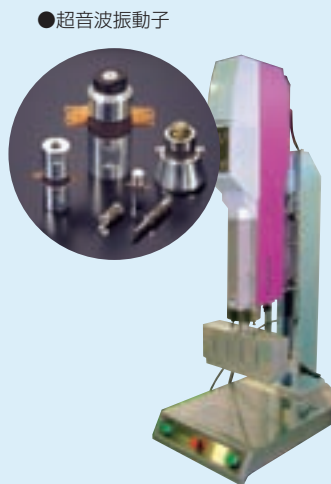
情報通信・セラミック関連事業 主要製品



●水晶デバイス・SAWフィルター用パッケージ



●有機ICパッケージ



●超音波振動子

●酸素濃縮器



●半導体用部品



●切削工具



●バイオセラミックス



●半導体製造
装置用部品



連結貸借対照表

単位：百万円

資 産 の 部			負債及び純資産の部		
科 目	2009年3月末	2010年3月末	科 目	2009年3月末	2010年3月末
流 動 資 産	128,724	186,345	流 動 負 債	41,982	57,691
現金及び預金	18,387	28,838	買 掛 金	9,186	32,957
受取手形及び売掛金	35,493	46,237	短 期 借 入 金	13,611	1,116
有 価 証 券	15,593	36,120	1年内償還予定の社債	—	2,666
た な 卸 資 産	52,689	59,720	リ ー ス 債 務	131	181
繰 延 税 金 資 産	1,203	7,108	未 払 法 人 税 等	747	1,369
そ の 他	5,496	8,497	繰 延 税 金 負 債	216	109
貸 倒 引 当 金	△139	△177	そ の 他	18,089	19,290
固 定 資 産	147,271	145,130	固 定 負 債	49,628	66,778
有 形 固 定 資 産	109,939	95,473	社 債	22,666	35,000
建物及び構築物（純額）	55,407	49,136	リ ー ス 債 務	859	849
機械装置及び運搬具（純額）	34,991	28,413	退職給付引当金	16,243	16,796
土 地	15,819	15,291	負 の の れ ん	10	65
建 設 仮 勘 定	1,668	571	繰 延 税 金 負 債	8,526	12,701
そ の 他（純額）	2,052	2,060	そ の 他	1,322	1,365
無 形 固 定 資 産	4,592	6,462	負 債 合 計	91,610	124,469
の れ ん	337	145	株 主 資 本	193,727	206,013
ソ フ ト ウ エ ア	4,187	6,257	資 本 金	47,869	47,869
そ の 他	68	59	資 本 剰 余 金	55,164	55,162
投資その他の資産	32,739	43,195	利 益 剰 余 金	105,673	117,985
投資有価証券	30,307	38,894	自 己 株 式	△14,979	△15,004
繰 延 税 金 資 産	942	2,749	評価・換算差額等	△11,109	△691
そ の 他	1,591	1,653	その他有価証券評価差額金	8,056	12,082
貸 倒 引 当 金	△102	△102	為替換算調整勘定	△19,165	△12,774
資 産 合 計	275,995	331,476	少 数 株 主 持 分	1,766	1,684
			純 資 産 合 計	184,384	207,006
			負 債 純 資 産 合 計	275,995	331,476

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位：百万円

科 目	2009年3月期	2010年3月期
売 上 高	292,121	243,914
売 上 原 価	251,832	192,722
売 上 総 利 益	40,289	51,192
販売費及び一般管理費	45,511	40,508
営業利益又は営業損失(△)	△5,222	10,683
営 業 外 収 益	3,554	2,610
受取利息及び配当金	2,363	1,095
そ の 他	1,191	1,515
営 業 外 費 用	5,861	2,535
支 払 利 息	584	641
そ の 他	5,276	1,893
経常利益又は経常損失(△)	△7,528	10,758
特 別 利 益	56	1,737
固定資産売却益	45	937
投資有価証券売却益	10	—
関係会社株式売却益	—	800
特 別 損 失	35,839	2,113
固定資産処分損	297	329
減 損 損 失	26,657	1,761
の れ ん 償 却 額	7,791	—
投資有価証券売却損	—	18
投資有価証券評価損	1,093	4
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△43,311	10,382
法人税、住民税及び事業税	4,148	2,998
過年度法人税等戻入額	—	△101
法 人 税 等 調 整 額	23,801	△6,311
少 数 株 主 利 益	407	287
当期純利益又は当期純損失(△)	△71,669	13,509

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	2009年3月期	2010年3月期
税金等調整前当期純損益	△43,311	10,382
減 価 償 却 費	31,767	18,825
減 損 損 失	26,657	1,761
の れ ん 償 却 額	8,878	164
売上債権の増減額	15,082	△9,280
たな卸資産の増減額	13,889	△4,369
仕入債務の増減額	△10,497	19,443
法人税等の支払額	△7,554	△2,572
そ の 他	1,691	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,603	34,255
定期預金の増減額	△1,579	△222
有価証券の増減額	7,208	△10,627
有形及び無形固定資産の取得	△32,595	△7,631
そ の 他	△187	1,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,153	△17,270
借 入 金 の 増 減 額	9,229	△12,557
社債の発行による収入	—	14,918
社債の償還による支出	△13,433	—
自己株式の取得による支出	△62	△30
配 当 金 の 支 払 額	△5,876	△1,206
そ の 他	△319	△259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,461	865
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,098	921
現金及び現金同等物の増減額	△4,109	18,771
現金及び現金同等物の期首残高	31,702	27,593
現金及び現金同等物の期末残高	27,593	46,364

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書（2010年3月期）

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2009年3月31日残高	47,869	55,164	105,673	△14,979	193,727	8,056	△19,165	△11,109	1,766	184,384
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△1,198		△1,198					△1,198
当期純利益			13,509		13,509					13,509
自己株式の取得				△30	△30					△30
自己株式の処分		△1		5	4					4
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						4,026	6,391	10,418	△82	10,336
連結会計年度中の変動額合計	—	△1	12,311	△24	12,285	4,026	6,391	10,418	△82	22,621
2010年3月31日残高	47,869	55,162	117,985	△15,004	206,013	12,082	△12,774	△691	1,684	207,006

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社（2010年3月期 34社）

米国特殊陶業株式会社
 米国テクノロジー株式会社
 英国NGKスパークプラグ株式会社
 欧州NGKスパークプラグ有限公司
 ヨーロッパ特殊陶業株式会社
 ブラジル特殊陶業有限公司
 上海特殊陶業有限公司
 オーストラリアNGKスパークプラグ株式会社
 セラミックセンサ株式会社
 株式会社日特製作所
 株式会社神岡セラミック
 NTKセラミック株式会社
 他 22社

配当金の推移

(1株当たり)

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	(2011年3月期)
中間	13円50銭	13円50銭	5円50銭	(9円)
期末	13円50銭	—	5円50銭	(9円)
年間	27円	13円50銭	11円	(18円)

() は予定

持分法適用会社（2010年3月期 2社）

友進工業株式会社
 東海耐摩工具株式会社

貸借対照表

単位：百万円

科 目	2009年3月末	2010年3月末
〔資産の部〕		
流 動 資 産	83,507	126,262
固 定 資 産	151,789	147,973
有 形 固 定 資 産	88,720	74,557
無 形 固 定 資 産	4,058	6,118
投資その他の資産	59,010	67,298
資 産 合 計	235,296	274,236
〔負債の部〕		
流 動 負 債	38,594	47,177
固 定 負 債	41,830	57,451
負 債 合 計	80,425	104,628
〔純資産の部〕		
株 主 資 本	146,947	157,752
資 本 金	47,869	47,869
資 本 剰 余 金	55,164	55,162
利 益 剰 余 金	58,893	69,724
自 己 株 式	△14,979	△15,004
評価・換算差額等	7,923	11,855
純 資 産 合 計	154,871	169,607
負 債 純 資 産 合 計	235,296	274,236

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

単位：百万円

科 目	2009年3月期	2010年3月期
売 上 高	234,697	206,487
売 上 原 価	231,233	177,069
売 上 総 利 益	3,463	29,417
販売費及び一般管理費	24,230	21,851
営業利益又は営業損失(△)	△20,766	7,566
営 業 外 収 益	4,506	3,626
受取利息及び配当金	2,807	2,008
そ の 他	1,699	1,618
営 業 外 費 用	4,210	2,374
支 払 利 息	382	537
そ の 他	3,827	1,836
経常利益又は経常損失(△)	△20,470	8,818
特 別 利 益	25	1,580
固 定 資 産 売 却 益	15	817
投資有価証券売却益	10	—
貸倒引当金戻入額	—	762
特 別 損 失	36,078	2,090
固 定 資 産 処 分 損	287	306
減 損 損 失	26,281	1,761
投資有価証券売却損	—	18
投資有価証券評価損	1,093	4
関係会社株式評価損	8,415	—
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	△56,522	8,307
法人税、住民税及び事業税	355	93
過年度法人税等戻入額	—	△101
法 人 税 等 調 整 額	17,239	△4,982
当期純利益又は当期純損失(△)	△74,117	13,298

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

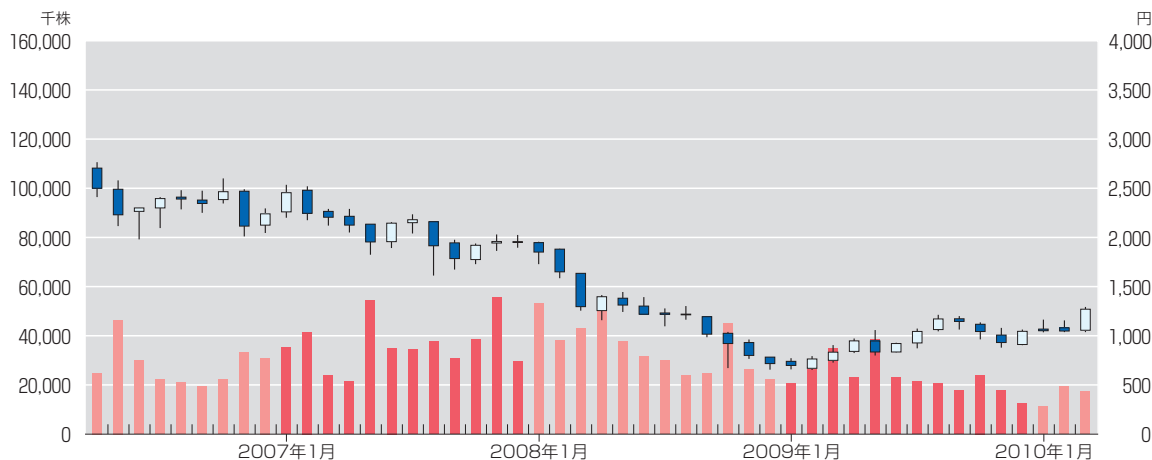
発行可能株式総数	390,000,000株
発行済株式の総数	229,544,820株
株主数	15,588名

上位10位の株主

株主名	所有株式数	持株比率
	千株	%
第一生命保険相互会社 (現 第一生命保険株式会社)	16,752	7.69
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	16,442	7.55
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,685	4.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,519	4.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,032	3.69
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505225	7,175	3.29
日本生命保険相互会社	7,125	3.27
全国共済農業協同組合連合会	5,238	2.40
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	4,837	2.22

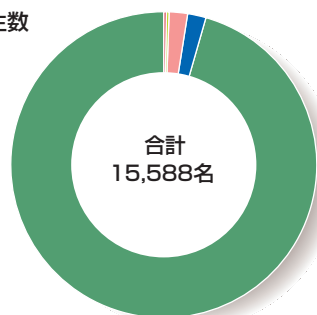
- (注) 1. 当社は、2010年3月31日現在自己株式を11,676千株保有しておりますが、上記上位10位の株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式(11,676千株)を控除して計算しております。

株価および株式売買高(東京証券取引所)



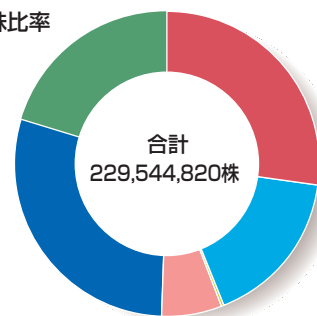
所有者別株式分布状況

株主数



- 金融機関
83名(0.53%)
- 金融商品取引業者
35名(0.22%)
- その他国内法人
295名(1.89%)
- 外国法人・外国人
298名(1.91%)
- 個人・その他
14,877名(95.45%)

持株比率



- 金融機関
27.47%(63,052,487株)
- 信託業務に関わる株式関係
16.67%(38,254,075株)
- 金融商品取引業者
0.29%(670,376株)
- その他国内法人
6.37%(14,623,246株)
- 外国法人・外国人
28.96%(66,482,769株)
- 個人・その他
20.24%(46,461,867株)

商 号 日本特殊陶業株式会社
英 文 社 名 NGK SPARK PLUG CO., LTD.
本社所在地 〒467-8525
愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
設立年月日 1936年（昭和11年）10月26日
資 本 金 478億69百万円

主要生産品目

自動車関連部門

スパークプラグ（自動車用、航空機用、農林・船舶・産業用、レース用）、
ディーゼルエンジン用グロープラグ
自動車用各種センサ（酸素センサ、ノックセンサ 他）
セラミック製エンジン部品 他

情報通信・セラミック関連部門

半導体用部品 セラミック積層型ICパッケージ、オーガニックIC
パッケージ、通信デバイス用ICパッケージ 他
電 子 部 品 超音波振動子、誘電体フィルタ、誘電体共振器、
着火装置 他
機 械 工 具 セラミック切削工具、サーメット切削工具、コーティ
ング切削工具、微粒子超硬合金切削工具 他
応用セラミック 真空スイッチ容器、半導体製造装置用部品、セラミック
ヒータ、シリコン整流器用容器、バイオセラミックス、
医療用酸素濃縮器 他

主な事業所 工 場：本社工場、小牧工場、鹿児島宮之城工場、伊勢工場
支 社：東京
営業所：東京、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、埼玉
従 業 員 5,726人（就業人員）

役 員
(2010年6月29日現在)

代表取締役 取締役社長	加 藤 倫 朗
代表取締役 取締役副社長	川 原 一 雄
代表取締役 取締役副社長	川 下 政 美
専務取締役	加 川 純 一
常務取締役	住 田 克 彦
常務取締役	二 村 精 二
常務取締役	大 島 崇 文
常務取締役	多 島 容 容
常務取締役	柴 垣 信 二
常務取締役	尾 堂 真 一
取 締 役	山 田 正 彦
取 締 役	寺 西 範 男
取 締 役	河 尻 章 吾
取 締 役	鈴 木 淳 一 郎
取 締 役	中 川 武 司
取 締 役	松 成 慶 一
取 締 役	飯 見 均
取 締 役	小 磯 英 之
取 締 役	濱 田 隆 男
取 締 役	河 合 忠 男
常勤監査役	川 満 務
常勤監査役	浅 井 正 美
監 査 役	井 上 邦 洋
監 査 役	佐 尾 重 久

ホームページのご案内

日本特殊陶業のホームページでは、
IR（投資家向け）情報や、スパークプ
ラグをはじめとする製品に関するご案
内などの情報を掲載してお待ちして
おります。是非一度ご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>



CSRへの取り組み

企業は、お客様、株主・投資家の皆様、従業員、お取引先、地域の皆様など様々なステークホルダーからの信頼を基に存続しています。また企業は、健全な発展があつてこそ、社会的役割を果たすことが可能となります。そのため、適切な情報開示とモラルに秀でた透明性のある企業経営を目指すこと、健全な経済効果を追求すること、これらのバランスが重要と考えます。

当社グループは、1996年に企業理念、1998年に企業行動規範を制定し、企業として進むべき方向を示しました。2004年には『行動規範ガイドブック』を発行して、的確な判断、適切な行動をするための基準を明確にし、役員・従業員の意識を高めてきました。その後、順次、輸出管理や機密管理などの仕組みを整え、遵守を徹底してきました。そして2010年4月、CSRを体系的に推進し、当社グループに関わるすべての人に浸透させるべく、CSR推進室を設置しました。

※CSR=Corporate Social Responsibility

環境への取り組み

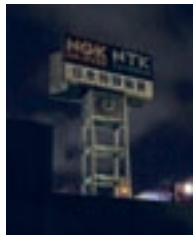
当社グループは、1999年に制定した「環境宣言」(2004年改訂)、マネジメント、ファクトリー/オフィス、プロダクツ、コミュニケーション、マインドの5つのカテゴリーから成る「環境方針」のもと、持続可能な社会の実現を目指して環境活動に取り組んでいます。

● グリーンサプライヤー制度の展開

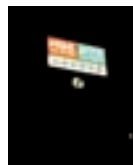
環境に積極的に取り組むお取引先を「グリーンサプライヤー」として認定しています。認定の条件は、環境マネジメントシステムの構築、禁止化学物質の非含有の2つであり、これまでに315社(2010年4月末現在)を認定しました。今後も認定企業の拡大を図り、ともに環境に優しいものづくりを実践していきます。

● ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省は毎年、地球温暖化防止の“気づき”につなげるため、ライトアップ施設や家庭の電気を消す「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。当社は本キャンペーンに賛同し、2009年も6月21日(夏至の日)と7月7日(クール・アースデー)の2日間、各地の広告塔・看板をライトダウン(消灯)しました。



7月7日/本社



通常

環境宣言

当社グループは、社会、地球環境との調和を図りつつ、環境にやさしいNGKスパークプラグ/NTKニューセラミック製品のライフサイクル全体を通して、良品主義のもと新たな価値を提案し、世界の人々に貢献します。

この達成のため、環境方針に基づく環境行動計画を策定し、総員参加により持続可能な社会、経営の発展を追求し、信頼される企業として社会的な役割・責任を担っていきます。



『環境社会報告書2010』は、9月発行予定です。当社ホームページにてお知らせしますので、ぜひご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/environment/index.html>

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	東京・名古屋（第1部）
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14番18号
<http://www.ngkntk.co.jp/>

